

## 委員の発言の要旨

### (1) 経営所得安定対策関係

- ・最近の対策は、農業者や組織から直接、国に計画書等を提出する形式になっている。国にも計画書を作成するに当たり農業者への十分なフォローをお願いしたい。
- ・水稲の県外との地域間調整をスムーズに行われるシステムを、国で調整してほしい。
- ・土地利用型農業の場合、面積集約ができないということは、仕事を無くすことと同じである。農業に力を入れている地域では、どうしても集落営農との間で摩擦が起きる。「話し合いで解決してくださいよ。」といったきれい事ではすまない。何か対策ができるのであればお願いしたい。
- ・品目横断では、あまりにも提出書類が多いため非常にとまどっている。もう少し弾力的に考えていただきたい。
- ・北陸4県は水田地帯であり、水田に一番適している農作物は水稲です。北陸は湿田が多いため、麦・大豆は、水害にあって収穫皆無といった年がある。そのため湿田に適した水稲を作るための稲作特区というものを考えたらどうか。この特区で家畜のえさの自給率を考えて、日本全土で家畜のえさができるように考えてほしい。

### (2) 食育の推進関係

- ・幼稚園や保育園児をお持ちの20代などの若い夫婦たちに聞いてもらえるアピールの方法が必要である。
- ・イベントばかりでなく、もっと駅やパーキングなどに食育のパンフレットを置くなど、消費者に自然体で伝わる方法も考えるべきではないか。
- ・今の食育は、全般に農が忘れられている気がする。食育とは、農があつての食育ではないか。パンフレットを作るときには、農家が現場で一生懸命やっていることも書いていただきたい。
- ・農家の女性は、いろんなところで講演を聞いている。講演を聞かせるためには、努力と話術が必要。どんどん講演をして、話術の勉強をしていただきたい。
- ・食育のイベントには、意識の高い人が参加します。説明は、よく理解している人や実践している人でないと、参加者からは「伝わってくるものがない。」となってしまうので、がんばって勉強をしてから話をして欲しい。
- ・食育、地産地消等のイベントは、いかに末端まで行き届かせるかが重要である。隅々の末端消費者まで施策が行き届くような方法を考える必要がある。
- ・漫画「地域の星」のようなものを出したのは大変すばらしい。ただ、人間とつきあうのが苦手な、ニートやフリーターが自然とのふれあいの中で自分を見いだししていくといった面からの農業の活用もいれて欲しい。
- ・農業者も、農薬問題等にいろいろと取り組まれている。しかし、消費者サイドへの説明が弱い。消費者サイドは農業者の努力を理解できていない。もっと、消費者サイドに理解を促進するための情報提供といったものを考えて欲しい。
- ・行政には、人を集めるイベントではなく、その他大勢が関心を持つためのシステム作りをお願いしたい。

- ・この漫画「地域の星」は、フリーターや団塊の世代に限らず、農業を知らない人に呼んでもらうと、農業の現状を非常によく理解できる内容になっており大変いいものである。
- ・地産地消は狭い範囲での活動ではなく、北陸農政局管内とか、柔軟なとらえ方をした地産地消の取組も必要ではないか。
- ・食育は、学校・職場だけとするものではなく、学校・職場や家庭などあらゆる方角からなされることが大切なことである。

### **(3) バイオマス対策関係**

- ・バイオマスが重要なのは理解するが、飼料、穀物が高くなることが心配である。飼料対策と一体化した取組をお願いします。
- ・バイオマスの推進については、縦割りといったことを考えずに、農政局が主導して、市町村、森林組合等を含めた検討会を計画していただきたい。

### **(4) 地産地消関係**

- ・地産地消で、地元農産物を販売するイベントがあると大勢の人が集まるが、それは、地元農産物に対する期待の表れではないか。そうであれば、地元農産物がもっと身近にいつでも手にいれることができるシステムを考えてほしい。
- ・お米（日本酒）での乾杯を推進していただきたい。
- ・米粉パンに取り組んでおり米粉に加工用米を使用したい。しかし、加工用米は割られてしまっている。割られていると製粉するときの歩留まりが悪くなる。米粉用の加工用米は、割らずに流通するなどの規制緩和というか配慮をお願いしたい。
- ・牛乳の消費拡大につながるのであれば、どんなイベントにも参加したい。農政局には、牛乳の消費拡大につながるイベントもお願いしたい。

### **(5) 輸出関係**

- ・留学生が母国に帰ったとき日本の農産物を輸入してみようという気にさせる留学生対策が必要である。

### **(6) 自給率関係**

- ・先進国は食料を自給する責任がある。地球的規模では食料が足りないため、先進国は食料を自給しなければいけない。自給を高める責任があるという考え方を正面切ってはっきりさせることが重要である。

### **(7) その他**

- ・二酸化炭素の量を抑える木や山を守るため、新たな税の制度を前々から提唱しているので、こういった部分も強力で推進してほしい。
- ・耕作放棄が一番迷惑をするのは、隣の圃場の者である。
- ・農村社会を維持していくこと、農業生産を確保すること、国民の健康を保護すること、環境を保全・保護すること、のトータルの根っこは同じですから、総合的に政策を考慮していただきたい。